

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月20日更新

事務事業名		「紙芝居がやってくる」実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	竹田 直広
	基本事業	66	学習の啓発			所属班	図書館班	(内線)	2512
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10782	法根拠 図書館法	成果優先度評価結果	⑤
								コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	屋外で昔ながらの紙芝居公演を春休み期間中と秋の読書週間期間中計2回実施する・平成18年度より、読書週間および春休み中の図書館行事として開始した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	ボランティアの方に依頼し、市民や図書館利用者へ公演の周知をする。ボランティアの方と打ち合わせをし、演目・当日の進行などを打ち合わせ、実施する。
【主な予算費目】	報酬費、謝金、消耗品費
【意見や要望】	・楽しかった、懐かしかったという声を聞いた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
11月に昔ながらの自転車で移動する紙芝居を実施した。雨のため図書館集会所で上演。3月も紙芝居を予定していたが講師の都合によりフルートの生演奏とおはなし会を融合させた公演を実施した。また司書によるブラックパネルシアターを行いフルートの世界に導入させた。参加者より好評を得た。延べ93人の参加があった。	23年度と同様11月と3月の2回実施予定 ※「子どもの読書活動推進講座実施事業」に統合	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:開催回数	回	(10600) 子どもの読書活動推進事業に統合のため減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・図書館利用者の小学生以下の子どもとその保護者		→ア:開催日の図書館来館者数
		人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・昔ながらの自転車で移動する紙芝居の公演を行うことで、子どもたちにおはなしの楽しさを知ってもらおう。		→ア:参加者数
		人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	2	2	2	2				
	イ									
②対象指標	ア	人	450	473	600	553				
	イ									
③成果指標	ア	人	99	116	200	93				
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円	3	3	4	5			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	8	7	6	4			
		(A)事業費計	千円	11	10	10	9			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	3	4	2	4			
延べ業務時間	時間	24	65	8	83					
(B)人件費計	千円	95	267	32	335					
トータルコスト(A)+(B)	千円	106	277	42	344					

事務事業名	「紙芝居がやってくる」実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 当初の計画通り23年度中に2回実施した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 来館者の多い土・日曜日のどちらかで実施する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・紙芝居開催の周知の仕方をもっと徹底すれば参加者数を増やすことができると考える。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市内にはおはなしボランティアの方があちこちで紙芝居やおはなしをしている。連携は可能。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 1回の公演につき2,000円の図書カードを謝金として渡している。また、参加した子どもには昔の遊びである紙風船を手渡しているが、低額のため削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 実際用具の準備やおはなし自体はボランティアの方にしていただくので、正職員はほとんど手を掛けていない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 低予算で多くの子どもたちに紙芝居に触れる機会を提供している。公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 事業に関してはほとんどボランティアによって行われており、広報と会場の準備のみ職員が行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

紙芝居を開催するにあたってかかる費用はボランティアに支払う謝礼と消耗品代である。観客は無料で参加することができ、懐かしい気分を味わえると好評である。日本に昔からある文化の1つであり続けていく価値はある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後も、秋の読書週間事業の一環として、子どもたちにおはなしの楽しさに触れてもらう良い機会として実施する。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在、紙芝居講師が1人という状況なので、講師の都合によっては紙芝居公演ができないことがあるので、今後の課題として解決していきたい。																						